

# 2025年度 卒業時アンケートの結果について

本学の学部4年生(卒業見込み生)を対象に、本学に対する満足度及び推奨度、現在の学修成果の状況、就職活動の状況等などについておうかがいし、本学の教育内容等をより良くしていくことを目的として、下記のとおり「卒業時アンケート」を実施いたしました。

(回答率)  
回答率は前年度より5.2%上昇し、69.6%(492名/707名)であった。  
学科別にみると情報表現学科が94.9%(241名/254名)と最も高い回答率となった。

| <2024年度「卒業時アンケート」><br>【実施時期】2025年1月21 日～3月31 日<br>【対象者】学部4年生(卒業見込み生)<br>【本アンケートの回答率】 | <2025年度「卒業時アンケート」><br>【実施時期】2026年1月20 日～3月31 日<br>【対象者】学部4年生(卒業見込み生)<br>【本アンケートの回答率】 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 大学全体 64.4%( 483名/750名)                                                               | 大学全体 69.6%( 492名/707名)                                                               |
| 情報表現学科 79.7%( 200名/ 251名)                                                            | 情報表現学科 94.9%( 241名/ 254名)                                                            |
| 音楽表現学科 68.1%(47名/69名)                                                                | 音楽表現学科 27.9%(17名/61名)                                                                |
| 音楽応用学科 66.7%(56名/84名)                                                                | 音楽応用学科 70.2%(59名/84名)                                                                |
| 舞台表現学科 45.9%(17名/37名)                                                                | 舞台表現学科 46.2%(18名/39名)                                                                |
| 総合政策学科 52.9%(63名/119名)                                                               | 総合政策学科 53.0%(53名/100名)                                                               |
| スポーツマネジメント学科 52.6%(100名/190名)                                                        | スポーツマネジメント学科 61.5%(104名/169名)                                                        |

# 2025年度「卒業時アンケート」設問

## 【推奨度】

Q. 本学への入学を後輩に勧めたいと思いますか。

## 【推奨理由/非推奨理由】

Q. 本学への入学を後輩に勧めたい/勧めたくない理由は何ですか。

- 1 施設・設備
- 2 教育内容や教育の質
- 3 教職員の学修支援体制の質・内容
- 4 就職支援体制の質・内容
- 5 友人関係
- 6 サークル活動の質・内容
- 7 その他(自由記述)

## 【学修成果(修得度)】

Q. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身につけることができましたか。

所属学科における専門知識・能力  
社会のルールや人との約束を守る力(規律性)  
自分と周囲との関係性を理解する力(状況把握力)  
課題解決に向けて準備する力(計画力)  
ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)  
新しい価値を生み出す力(創造力)  
自分の意見をわかりやすく伝える力(発信力)  
相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)  
目標を設定し確実に行動する力(実行力)  
意見や立場の違いを理解する力(柔軟性)  
他人に働きかけ、巻き込む力(働きかけ力)  
物事に進んで取り組む力(主体性)  
現状の課題を発見する力(課題発見力)

## 【学修成果(必要性)】

Q. 現時点で、履修した授業科目を通じてあなたが大学を卒業するまでに身につける必要があると思いますか。

所属学科における専門知識・能力  
社会のルールや人との約束を守る力(規律性)  
自分と周囲との関係性を理解する力(状況把握力)  
課題解決に向けて準備する力(計画力)  
ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)  
新しい価値を生み出す力(創造力)  
自分の意見をわかりやすく伝える力(発信力)  
相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)  
目標を設定し確実に行動する力(実行力)  
意見や立場の違いを理解する力(柔軟性)  
他人に働きかけ、巻き込む力(働きかけ力)  
物事に進んで取り組む力(主体性)  
現状の課題を発見にする力(課題発見力)

## 【学修行動】

Q. 現在(卒業直前)のあなたの学修状況についておうかがいします。  
各項目について1～4で回答してください。

- ・わからないことを放置することなく、すぐに教員に質問するなどの対応をした
  - ・興味を持ったことについて自主的に調べた
  - ・グループワークやディスカッションに積極的に参加した
  - ・発表やプレゼンテーションを積極的に行った
  - ・授業を毎回出席し教員の話をきちんと聴いていた
  - ・授業の課題等はきちんとやった
  - ・期末試験等の前は計画的に準備をした
  - ・サークル活動に積極的に参加した
  - ・アルバイトを頑張った
- 1 とてもよくあてはまる
  - 2 どちらかといえばあてはまる
  - 3 どちらかといえばあてはまらない
  - 4 まったくあてはまらない

# 2025年度「卒業時アンケート」設問

## 【キャリア・就職①】

Q. 希望通りの進路が実現できましたか。

- 1 実現できた
- 2 どちらかといえば実現できた
- 3 どちらかといえば実現できなかった
- 4 まったく実現できなかった

## 【キャリア・就職②】

Q. 在学中にどのような環境があれば、またはどのようなことに取り組んでいれば、希望通りの進路を実現できたと思いますか。

- 1 授業科目内でのキャリア教育の充実
- 2 授業科目外での就職支援の充実
- 3 インターンシップへの参加
- 4 業界研究の機会
- 5 資格取得のための勉強・対策
- 6 その他(自由記述)

## 【キャリア・就職③】

Q. 卒業後の進路を具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。

- 1 入学前
- 2 1年次春学期
- 3 1年次秋学期
- 4 2年次春学期
- 5 2年次秋学期
- 6 3年次春学期
- 7 3年次秋学期
- 8 4年次春学期
- 9 4年次秋学期
- 10 まだ考えていない

## 【満足度】

Q. 大学生活全般に対する満足度について当てはまるものを回答してください。

- 1 とても満足している
- 2 どちらかといえば満足している
- 3 どちらかといえば満足していない
- 4 まったく満足していない



## 大学全体集計結果



# 大学全体

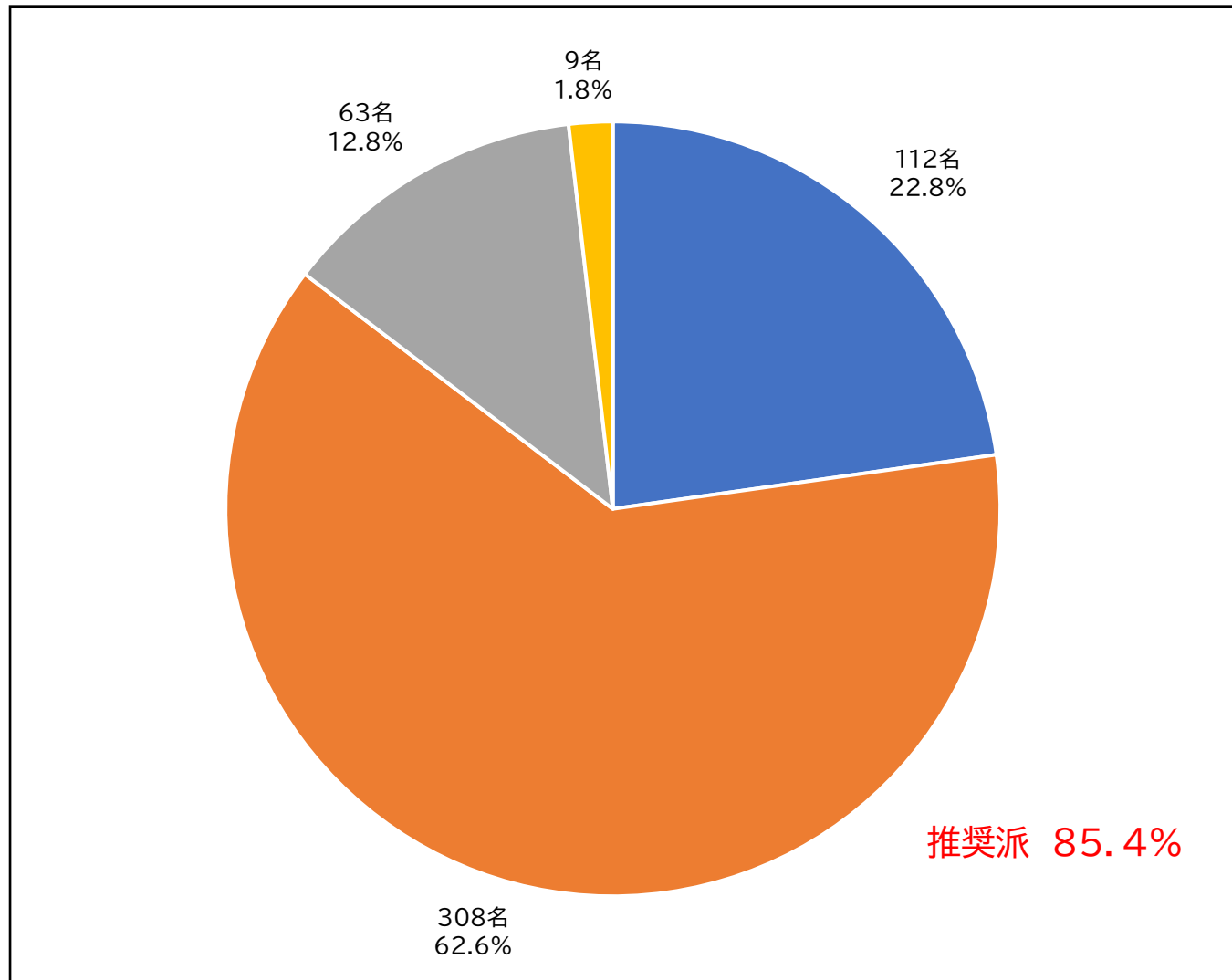
## 【推奨度について】

Q. 現時点で本学への入学を後輩や知人等に勧めたいと思いますか。

(概略)推奨派(強く思う+どちらかといえば思う)が85.4%(420名/492名)である一方、非推奨派(まったく思わない+どちらかといえば思わない)が14.6%(72名/492名)となった。  
2024年度同アンケート結果に比べ、推奨度が約5%程度増加した。

※<2024年度「卒業時アンケート」>

本学への入学を後輩や知人等に勧めたいと思うと回答した割合  
大学全体 80.9% (391名/483名)

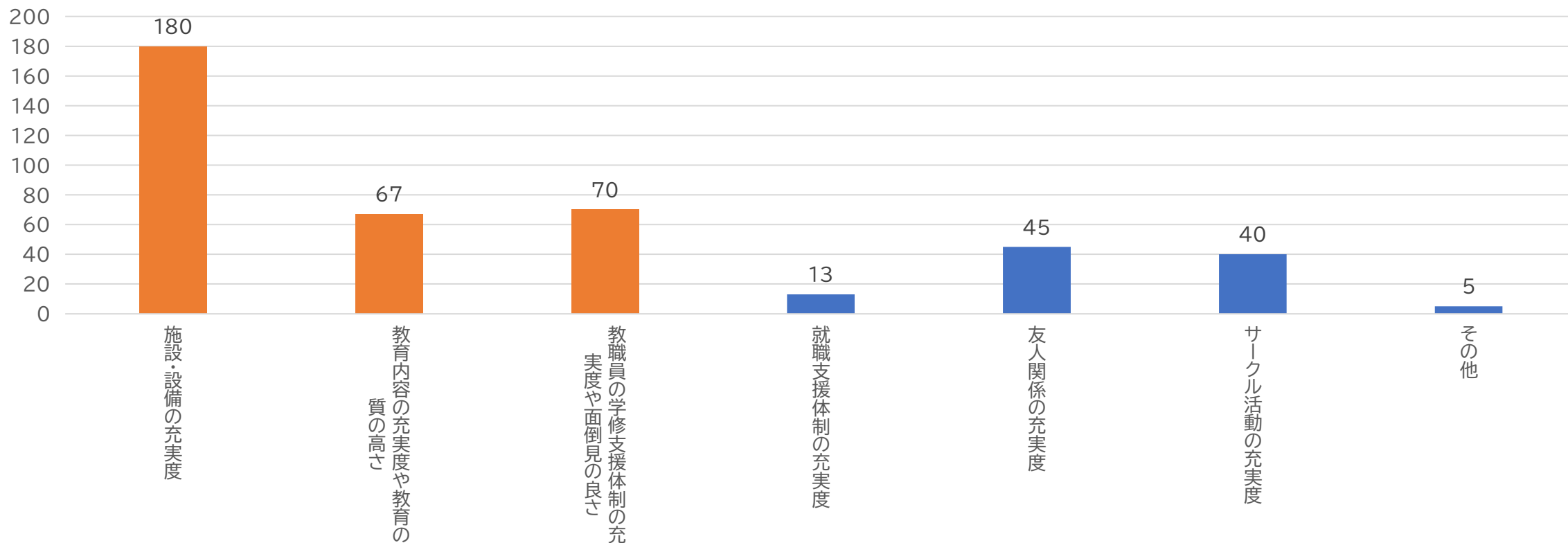


## 【推奨理由について】

※<2024年度「卒業時アンケート」（391名）>における主な推奨理由  
 「施設・設備の充実度」が154名（39.3%）  
 「教職員の学修支援体制の充実度や面倒見の良さ」が87名（22.2%）  
 「教育内容の充実度や教育の質の高さ」が68名（17.3%）

Q.「強く思う」「どちらかといえば思う」と回答した方におうかがいします。その理由として最も当てはまるものを選んでください。

（概略）推奨派の回答者の42.8%（180名/420名）が「施設・設備の充実度」と回答し、最も多い推奨理由であった。次に多かったのが「教職員の学修支援体制の充実度や面倒見の良さ」で16.6%（70名/420名）、3番目に多かったのが「教育内容の充実度や教育の質の高さ」で15.9%（67名/420名）であった。2024年度同アンケート結果と同様の傾向の結果となった。



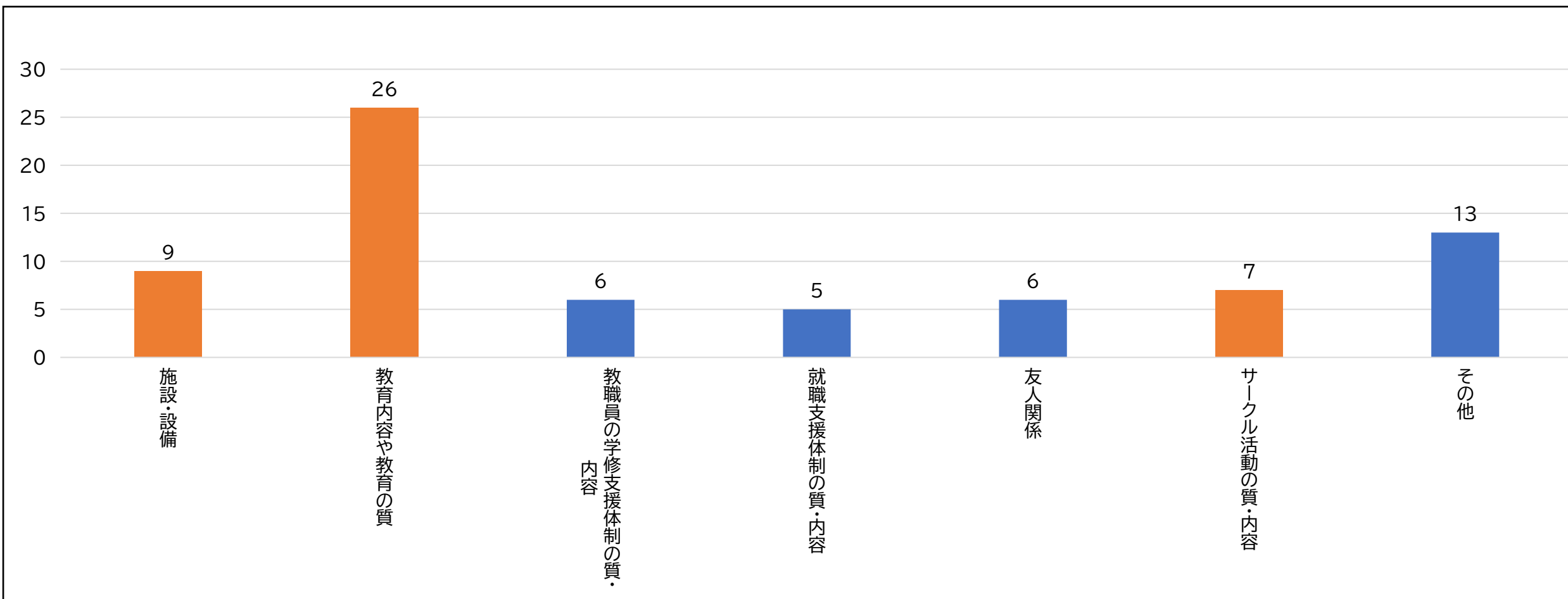
# 大学全体

## 【非推奨理由について】

※<2024年度「卒業時アンケート」(92名)>における主な非推奨理由  
「教育内容や教育の質」が39名(42.3%)  
「施設・設備」が18名(19.5%)  
「就職支援体制の質・内容」が10名(10.8%)

Q.「どちらかといえば思わない」「まったく思わない」と回答した方にお伺いいたします。非推奨の理由として最も当てはまるものを選んでください。

(概略) 非推奨派が非推奨の理由として一番多かった回答が「教育内容や教育の質」で36.1%(26名/72名)であった。次に多かったのが「施設・設備」で12.5%、(9名/72名)「サークル活動の質・内容」で9.7%(7名/72名)となった。2024年度同アンケート結果と同様の傾向の結果となった。



# 大学全体

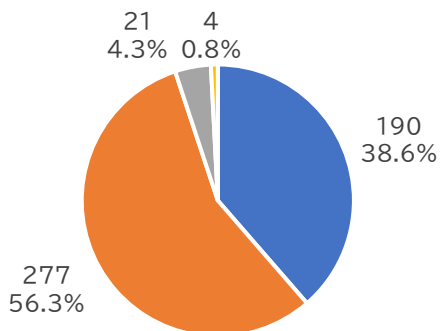
## 【学修成果について①(修得度)】

※<2024年度「卒業時アンケート」>  
「とてもよく身についている」の回答割合が多かったのは  
「傾聴力」(42.0%)  
「柔軟性」、「課題発見力」(39.9%)

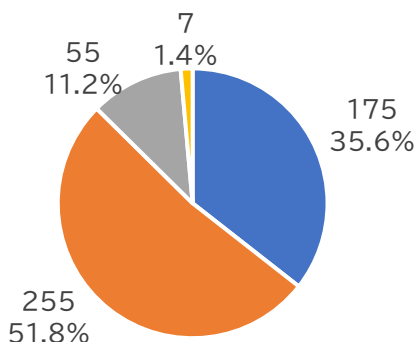
Q. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身につけることができましたか。

(概略)「とてもよく身についている」という回答の割合がもっとも多かったのが「相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)」で42.3%であった。次に多かったのが「新しい価値を生み出す力(創造力)」で40.7%、その次が「意見や立場の違いを理解する力(柔軟性)」で40.0%あった。2024年度同アンケート結果では、回答の上位にはなかった「創造力」が2番目に多い結果となった。

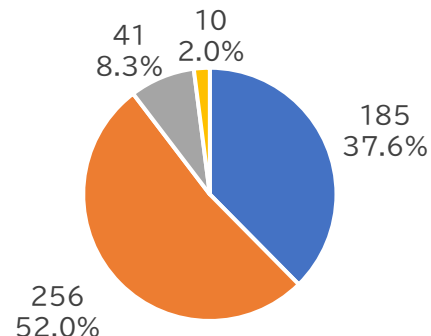
所属学科における専門知識・能力



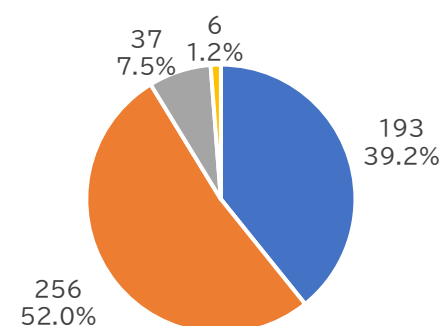
社会のルールや名との約束を守る力  
(規律性)



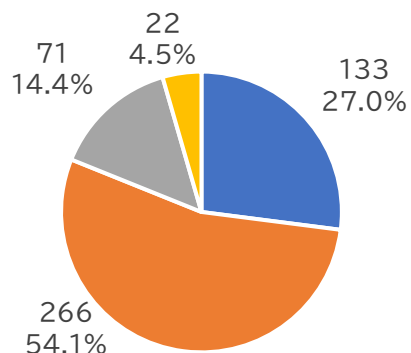
自分と周囲との関係性を理解する力  
(状況把握力)



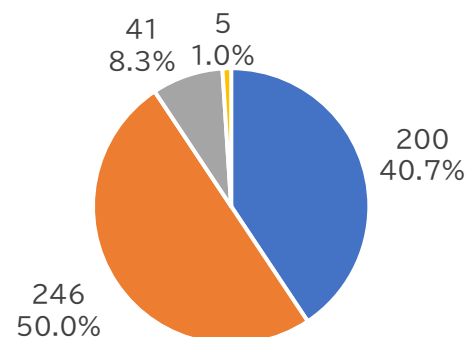
課題解決に向けて準備する力  
(計画力)



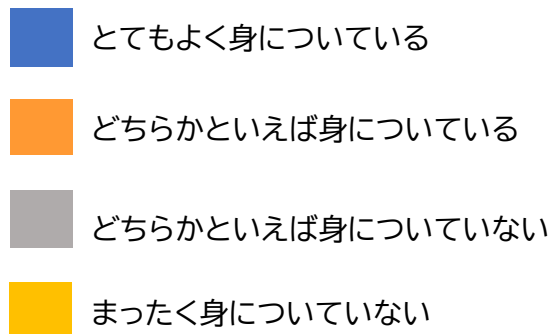
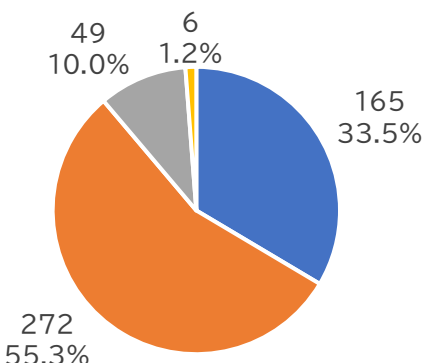
ストレスに対応する力  
(ストレスコントロール力)



新しい価値を生み出す力  
(創造力)



自分の意見をわかりやすく伝える力  
(発信力)



# 大学全体

## 【学修成果について②(修得度)】

※<2024年度「卒業時アンケート」>

「とてもよく身についている」の回答割合が少なかったのは

「働きかけ力」(29.1%)

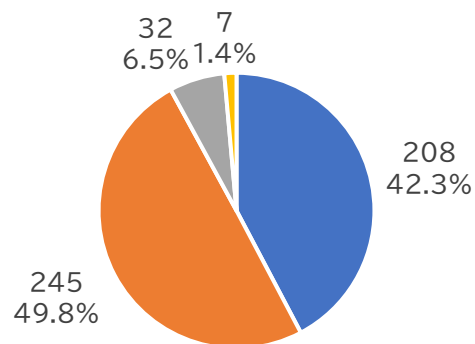
「ストレスコントロール力」(29.6%)

「発信力」(30.1%)

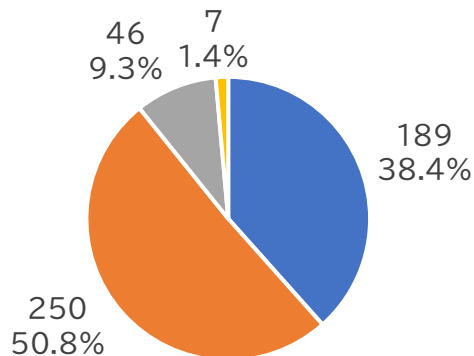
Q. 現時点で、履修した授業科目を通じて、以下の能力をどの程度身につけることができましたか。

(概略)他方で「とてもよく身についている」の割合がもっとも少なかったのが、「ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)」で27.0%、「他人に働きかけ、巻き込む力(働きかけ力)」で29.9%、「自分の意見をわかりやすく伝える力(発信力)」で33.5%であり、2024年度同アンケートと同様の傾向の結果となった。

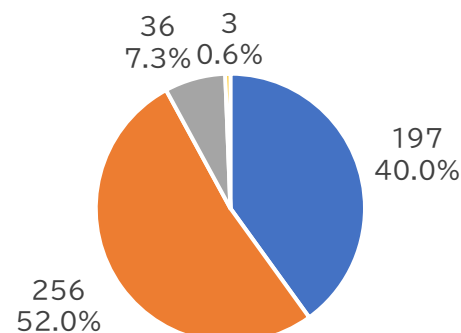
相手の意見を丁寧に聴く力  
(傾聴力)



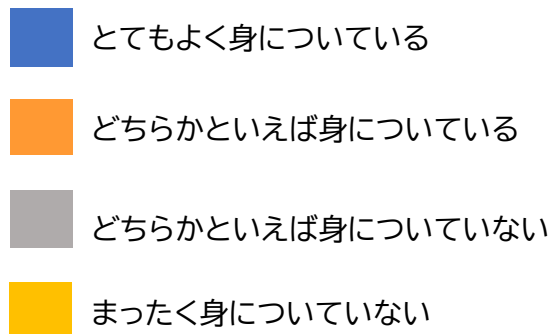
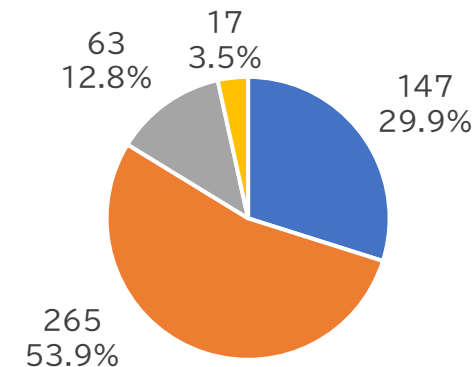
目標を設定し確実に行動する力  
(実行力)



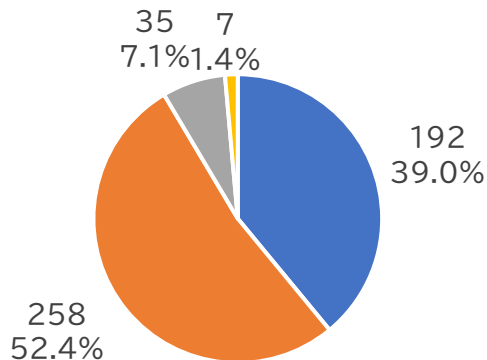
意見や立場の違いを理解する力  
(柔軟性)



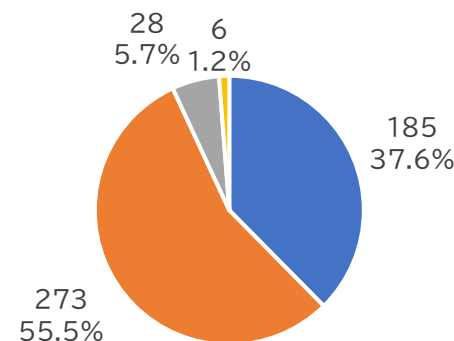
他人に働きかけ、巻き込む力  
(働きかけ力)



物事に進んで取り組む力  
(主体性)



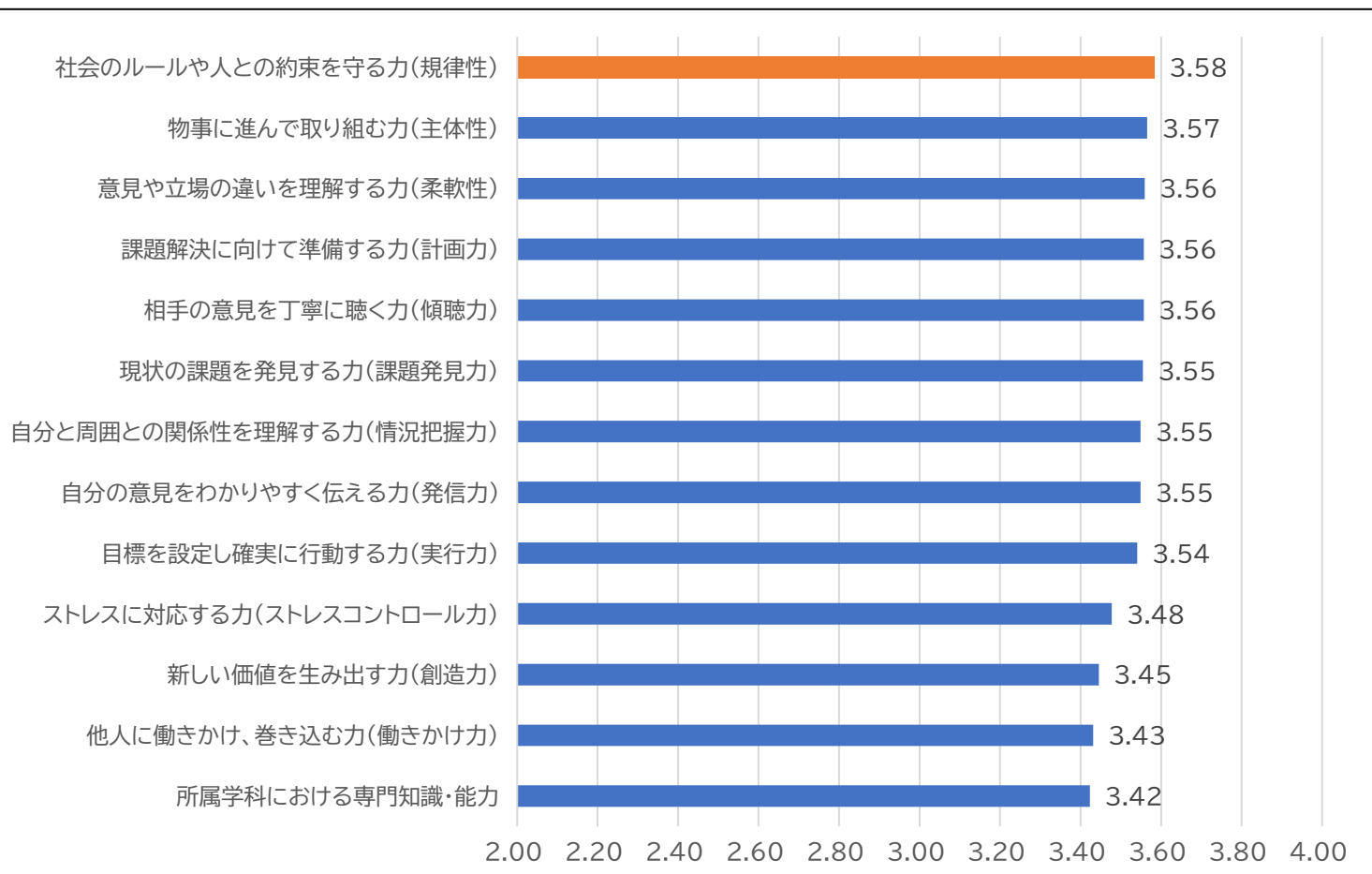
現状の課題を発見する力  
(課題発見力)



(概略) 身につける必要性がある能力で一番平均点が高かったのが「社会のルールや人との約束を守る力(規律性)」で3.58、2番目に多かったのが「物事に進んで取り組む力(主体性)」で3.57、3番目に多かったのが「意見や立場の違いを理解する力(柔軟性)」、「課題解決に向けて準備する力(計画力)」、「相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)」で3.56であった。

Q.現時点で、履修した授業科目を通じてあなたが大学を卒業するまでに身につける必要があると思いますか。

所属学科における専門知識・能力  
社会のルールや人との約束を守る力(規律性)  
自分と周囲との関係性を理解する力(状況把握力)  
課題解決に向けて準備する力(計画力)  
ストレスに対応する力(ストレスコントロール力)  
新しい価値を生み出す力(創造力)  
自分の意見をわかりやすく伝える力(発信力)  
相手の意見を丁寧に聴く力(傾聴力)  
目標を設定し確実に行動する力(実行力)  
意見や立場の違いを理解する力(柔軟性)  
他人に働きかけ、巻き込む力(働きかけ力)  
物事に進んで取り組む力(主体性)  
現状の課題を発見する力(課題発見力)



### 〈各学修成果の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、回答数で除して、各学修行動の平均値を算出した。

- 1点:まったく必要でない
- 2点:どちらかといえば必要でない
- 3点:どちらかといえば必要である
- 4点:とても必要である

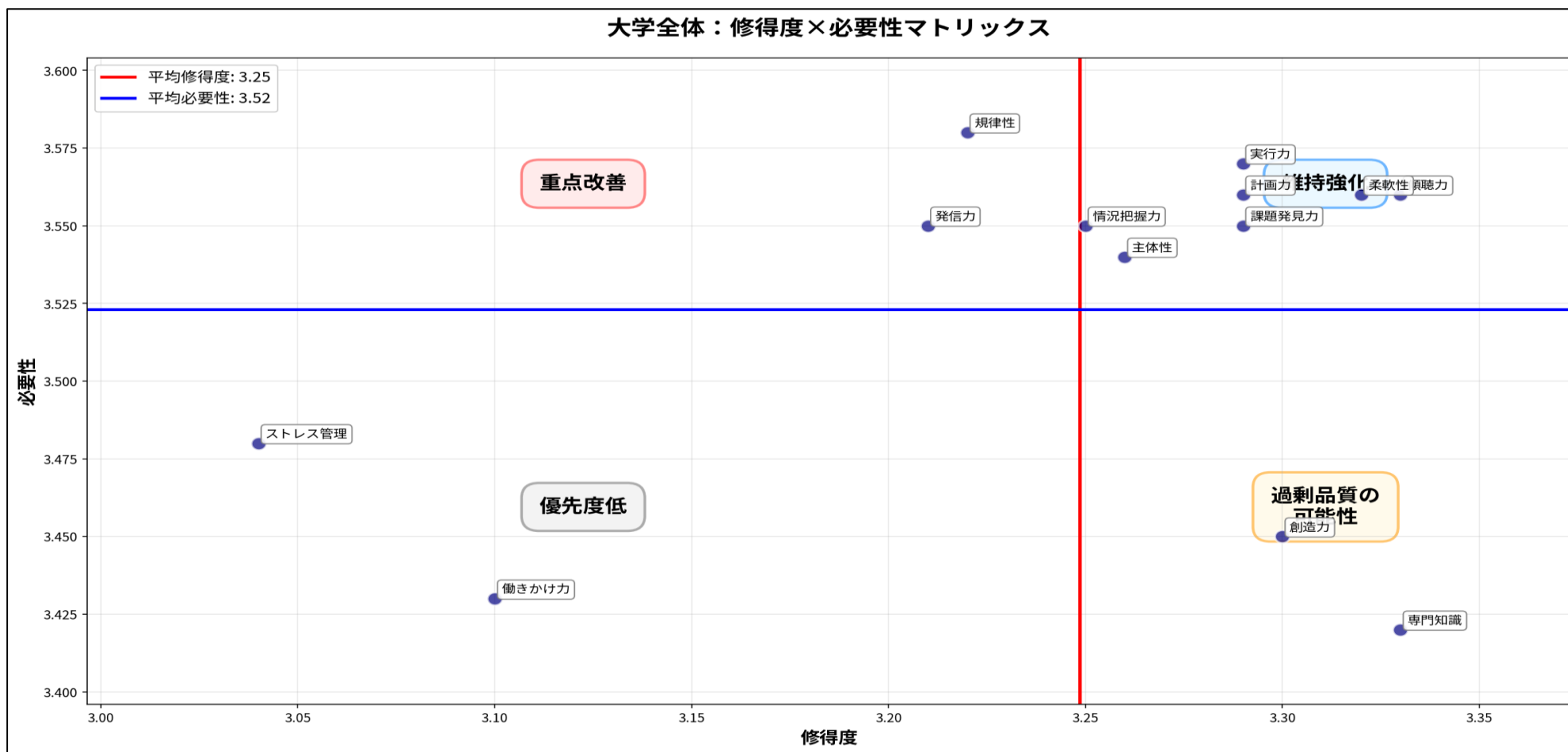
# 大学全体

## 【学修成果について④(修得度×必要性)】

各能力の修得度と必要性の認識の関係を整理しました。

### 【概略】

- 重点改善**：必要性の認識は高いが修得度は低い領域 「規律性」「発信力」
- 優先度低**：必要性の認識も修得度も低い領域 「ストレスコントロール力」「働きかけ力」
- 過剰品質の可能性**：修得度が高く、必要性の認識が低い領域 「創造力」「専門知識・能力」
- 維持強化**：修得度も必要性の認識も高い領域 「状況把握力」「主体性」「実行力」「計画力」「課題発見力」「柔軟性」「傾聴力」



※<2024年度「卒業時アンケート」>学修行動について回答が多かったのは  
「アルバイトを頑張った」3.43  
「授業の課題等はきちんとやった」3.38  
「興味を持ったことについて自主的に調べた」3.36

(概略)平均スコア(高いほど肯定的)でみると、「授業の課題等はきちんとやった(3.45)」が最も積極的に取り組んだ項目となった。その次が、「アルバイト(3.40)」、「自主学習(3.37)」と続いた。「発表・プレゼン(2.98)」や「グループワークやディスカッション(2.98)」などの能動的学修活動の平均スコアは低く、最下位は「サークル活動(2.58)」で、これらの行動は積極的に取り組まれていないことがわかった。2024年度同アンケート結果と比較すると順番に変化はあるが上位の項目は同様の傾向の結果となった。

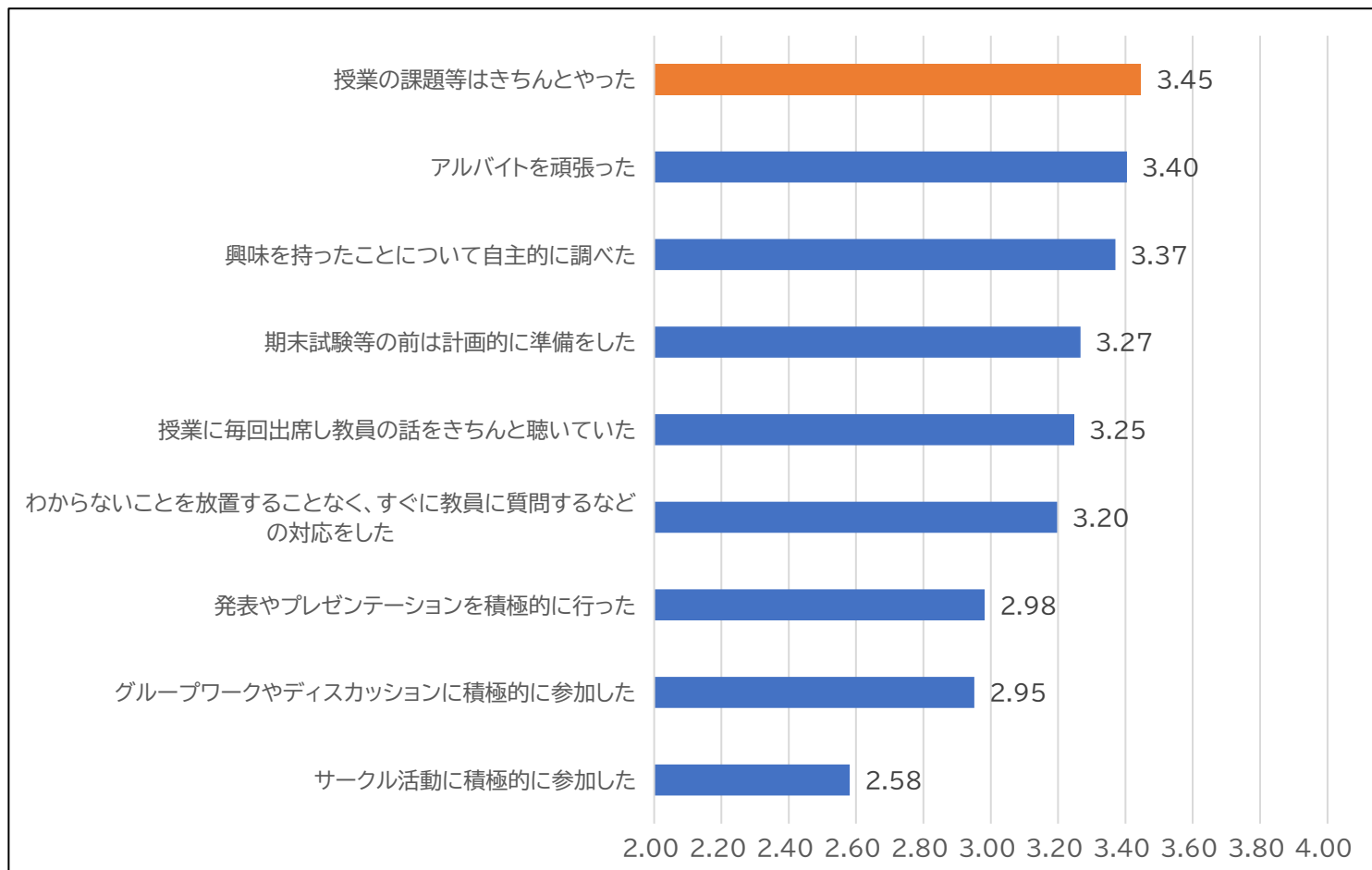
Q. 現在(卒業直前)のあなたの学修状況についておうかがいします。各項目について1～4で回答してください。

- ・わからないことを放置することなく、すぐに教員に質問するなど  
の対応をした
- ・興味を持ったことについて自主的に調べた
- ・グループワークやディスカッションに積極的に参加した
- ・発表やプレゼンテーションを積極的に行った
- ・授業を毎回出席し教員の話をきちんと聴いていた
- ・授業の課題等はきちんとやった
- ・期末試験等の前は計画的に準備をした
- ・サークル活動に積極的に参加した
- ・アルバイトを頑張った

## 〈各学修行動の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、  
回答数で除して、各学修行動の平均値を算出した。

- 1点:まったくあてはまらない(まったく取り組まなかった)
- 2点:どちらかといえばあてはまらない
- 3点:どちらかといえばあてはまる
- 4点:とてもよくあてはまる(積極的に取り組んだ)



# 大学全体

## 【学修行動について①(学修行動×修得度)】

各能力の修得度に関する設問で「とてもよく身についている」「どちらかといえば身についている」と回答した学生がどの学修行動を積極的に取り組んでいたかを整理しました。

(概略)課題提出に積極的に取り組んでいた学生は「計画力」「実行力」「ストレスコントロール力」「傾聴力」「主体性」がよく身についている。次いで、試験準備に積極的に取り組んでいた学生は「実行力」がよく身についている。  
自主的に調べることに積極的に取り組んでいた学生は「傾聴力」「状況把握力」がよく身についている。  
教員に質問することを積極的に取り組んでいた学生は「ストレスコントロール力」「主体性」がよく身についている。

### 〈各学修行動の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、  
回答数で除して、各学修行動の平均値を算出した。

1点:まったくあてはまらない(まったく取り組まなかった)  
2点:どちらかといえばあてはまらない  
3点:どちらかといえばあてはまる  
4点:とてもよくあてはまる(積極的に取り組んだ)

| 【TOP10 効果が大きい組み合わせ】 (積極層の方が能力スコアが良い) |         |             |       |       |       |      |
|--------------------------------------|---------|-------------|-------|-------|-------|------|
| 順位                                   | 学修行動    | 能力          | 積極層平均 | 消極層平均 | 平均差   | 有意判定 |
| 1                                    | 課題提出    | 計画力         | 3.345 | 2.481 | 0.863 | ***  |
| 2                                    | 課題提出    | 実行力         | 3.312 | 2.481 | 0.831 | ***  |
| 3                                    | 課題提出    | ストレスコントロール力 | 3.084 | 2.296 | 0.788 | ***  |
| 4                                    | 課題提出    | 傾聴力         | 3.377 | 2.593 | 0.785 | ***  |
| 5                                    | 課題提出    | 主体性         | 3.334 | 2.630 | 0.704 | ***  |
| 6                                    | 試験準備    | 実行力         | 3.358 | 2.656 | 0.702 | ***  |
| 7                                    | 自主的に調べた | 傾聴力         | 3.391 | 2.707 | 0.684 | ***  |
| 8                                    | 自主的に調べた | 状況把握力       | 3.313 | 2.634 | 0.679 | ***  |
| 9                                    | 教員に質問   | ストレスコントロール力 | 3.126 | 2.452 | 0.674 | ***  |
| 10                                   | 教員に質問   | 主体性         | 3.380 | 2.710 | 0.670 | ***  |

# 大学全体

## 【キャリア・就職について①】

Q. 希望通りの進路が実現できましたか？

(概略)「実現できた」(32.3%)「どちらかといえば実現できた」(48.6%)と回答した割合は80.9%(398名/492名)で、約8割の学生が希望通りの進路を実現している。他方で、「まったく実現できなかった」「どちらかといえば実現できなかった」と回答した割合は19.1%(94名/492名)であった。  
2024年度同アンケート結果と比較すると同様の傾向の結果となった。

※<2024年度「卒業時アンケート」>  
希望通りの進路が実現できたと回答をした学生の割合  
大学全体 79.1% (382名/483名)



実現できた



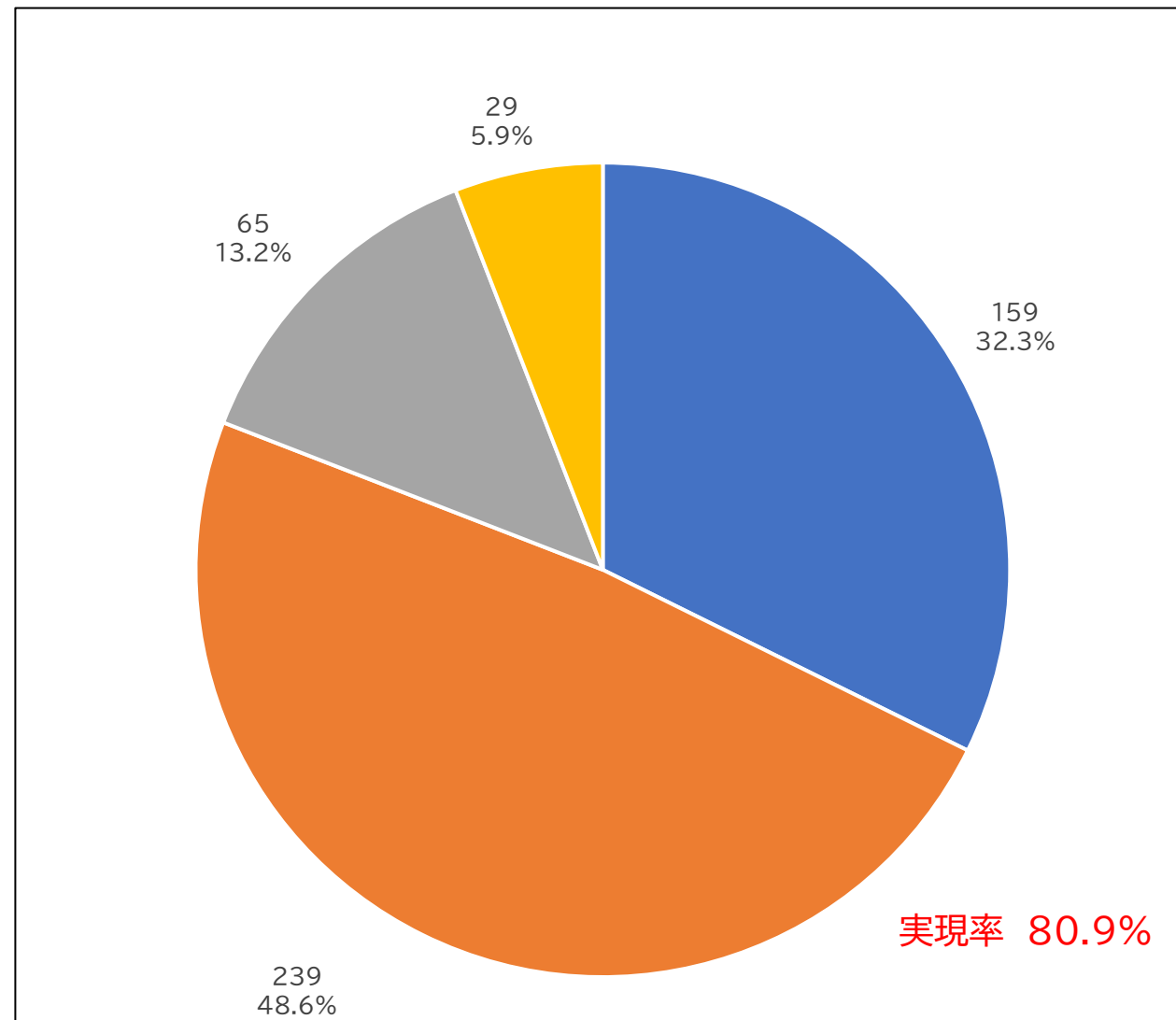
どちらかといえば実現できた



どちらかといえば実現できなかった



まったく実現できなかった



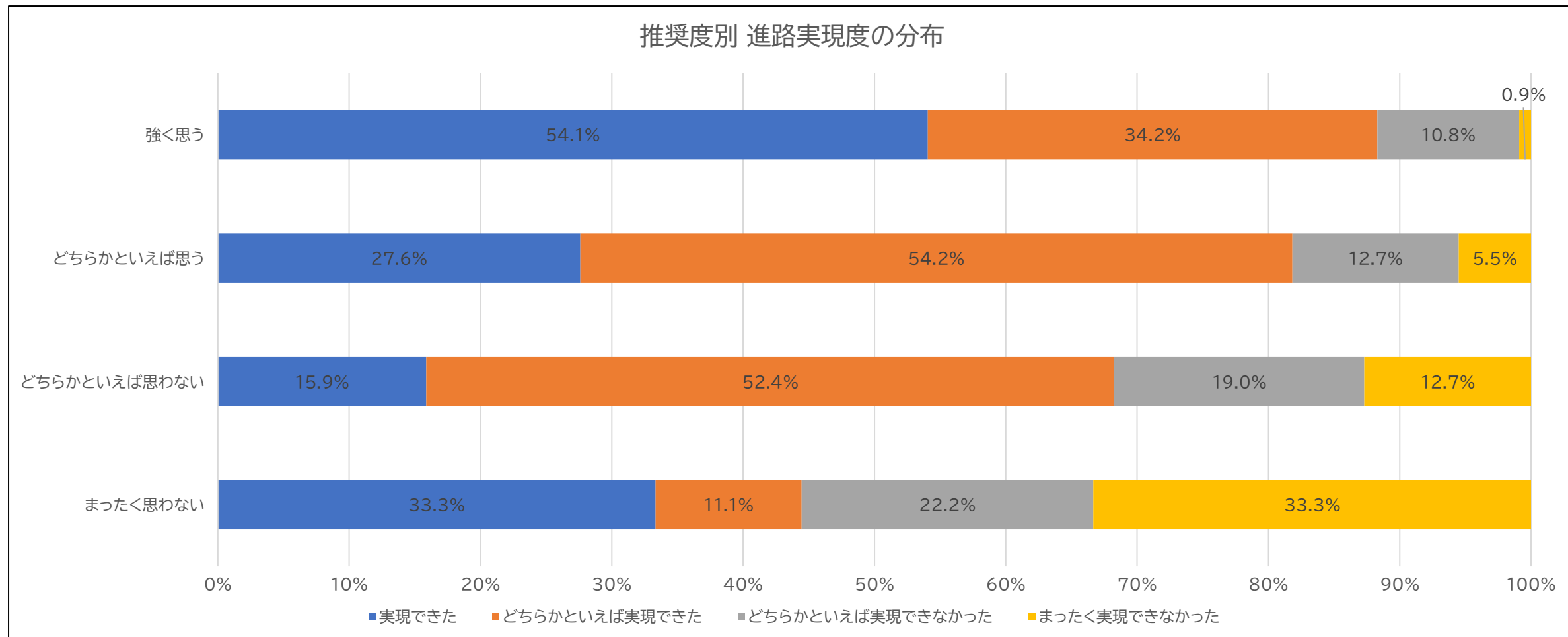
# 大学全体

## 【キャリア・就職について①-1（推奨度×進路実現度）】

推奨度と希望通りの進路実現の関係を整理しました。

推奨度が高い学生と低い学生が希望の進路実現ではどの程度実現できているのか。

【結論】推奨度が高いほど進路実現度も高い傾向が見られる。特に、「強く思う」では「実現できた」の割合が最も高く、半数以上を占めている。一方で、推奨度が低いほど、希望通りの進路がまったく実現できていない割合が高くなっている。



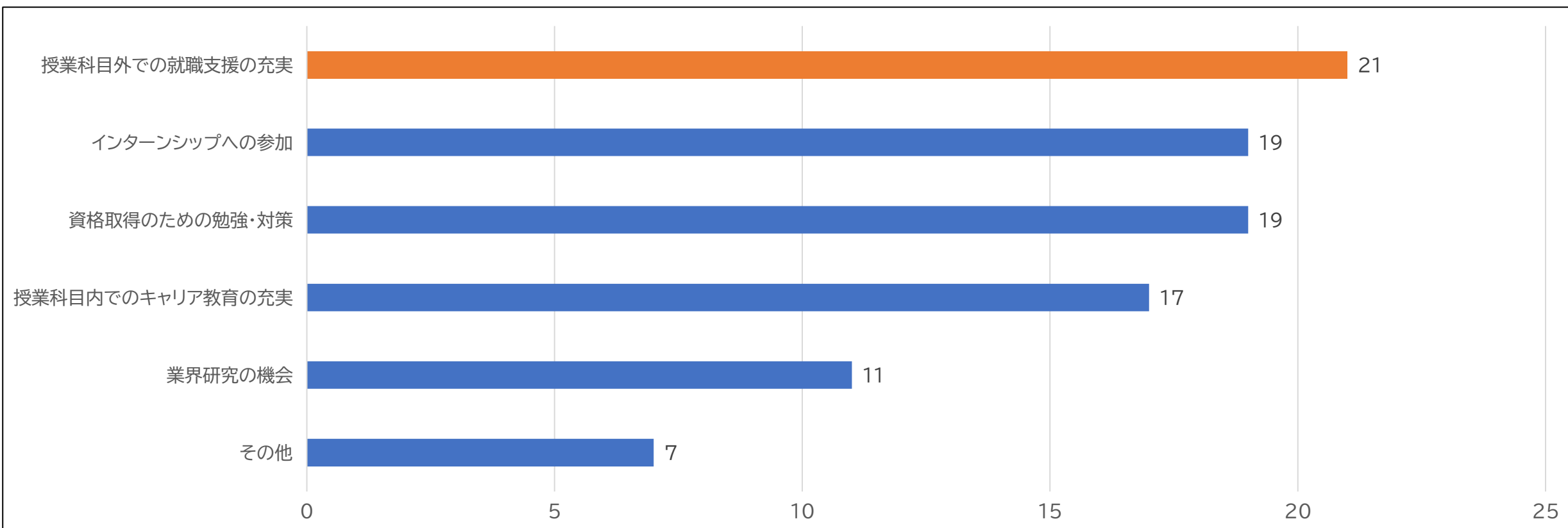
# 大学全体

## 【キャリア・就職について②】

※<2024年度「卒業時アンケート」>における同旨の質問  
回答数が多かったのは  
「インターンシップへの参加」22.7% (23名/101名)  
「授業科目外での就職支援の充実」18.8% (19名/101名)

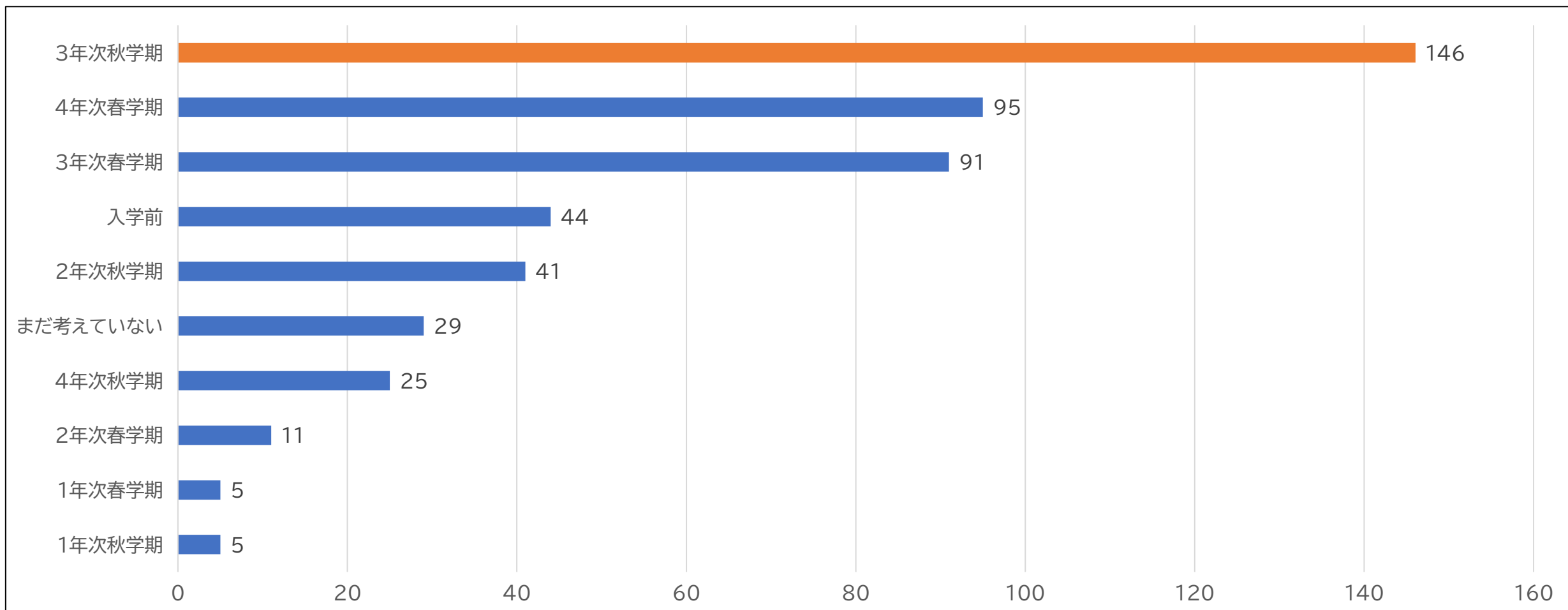
Q.希望通りの進路が実現できたかについて「どちらかといえば実現できなかった」「まったく実現できなかった」と回答した学生が、在学中にどのような環境があれば、またはどのようなことに取り組んでいれば、希望通りの卒業後の進路を実現できたと思っているか。(94名が該当)

(概略)希望通りの卒業後の進路を実現できなかった回答者のうち、在学中にあれば良かった環境・取組で一番多かった回答は「授業科目外での就職支援の充実」で22.3%(21名/94名)、2番目に多かったのが「インターンシップへの参加」、「資格取得のための勉強・対策」で20.2%(19名/94名)、3番目に多かったのが「授業科目内でのキャリア教育の充実」で18.0%(17名/94名)となった。2024年度同アンケート結果と比較すると順番に変化はあるが上位の項目は同様の傾向の結果となった。



Q. 卒業後の進路を具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。

（概略）「3年次秋学期」が一番多く29.6%（146名/492名）、次に多かったのが「4年次春学期」で19.3%（95名/492名）、3番目に多かったのが「3年次春学期」で18.4%（91名/492名）であった。2024年度同アンケート結果と比較すると同様の傾向の結果となった。



# 大学全体

## 【満足度について】

Q. 大学生生活全般に対する満足度について当てはまるものを回答してください。

(概略)「とても満足」(39.0%/192名)と「どちらかといえば満足」(54.1%/266名)の合計が93.1%(458名)で、9割以上の学生が大学生生活全般について満足していると回答した。他方で、「まったく満足していない」と「どちらかといえば満足していない」の合計は6.9%(34名)にとどまっている。  
2024年度同アンケート結果に比べ、満足度が約3%程度増加した。

※<2024年度「卒業時アンケート」>における同旨の質問  
「やや満足した」「大変満足した」と回答した学生  
大学全体 439名 (90.9%)



とても満足している



どちらかといえば満足している



どちらかといえば満足していない



まったく満足していない

